

西脇久夫さんの一周忌に想いをよせて

ボニージャックス・松倉とし子

コンサート



ボニージャックス



松倉とし子



ピアJ / 斉藤久実

日時

2022年8月30日 火曜日

開場 13:00

開演 13:30 終演 15:30

ゲスト

ボニージャックス合唱団 花みずき

会場

横浜市磯子区民文化センター
杉田劇場

〒235-0033

住所 神奈川県横浜市磯子区杉田1丁目1-1-4F

電話 045-771-1212

web <https://www.sugigeki.jp/>

チケット

全指定席: 5,000円

チケットお申込み

ボニージャックス事務所

TEL 090-2229-8625

FAX 03-3554-1331

NPO法人 日本国際童謡館

TEL045-562-1950

FAX045-562-1951

info@doyokan.net

<https://www.facebook.com/NPOdoyokan/>

— お願い —

※感染防止対策をしての開催となります。マスクの着用などみなさまのご協力をお願い申し上げます。

• 入場券に氏名・連絡先の記載をお願いします。

共催 ボニージャックス事務所、NPO 法人日本国際童謡館

株式会社ニュー西北エンタープライズ

TEL:042-331-2392 FAX:042-350-3106

ご挨拶

早稲田大学グリークラブのメンバー四人が昭和33(1958)年ボニージャックスを結成。以来山あり谷ありの道を夢中で走り通してきましたが、気が付けば今年でなんと64年目になります。変わらずご支援くださった大勢の皆様のおかげです。

昨年の8月30日トップテナーの西脇久夫が闘病の末他界し、残った三人は途方にくれました。マスコミ報道もせまっているなか、昔から親しくしている歌手の大庭照子さんに西脇訃報の連絡を入れた際、すかさず「ボニーはやめたら駄目ですよ！」と力強く言われました。その電話で我々の方針はボニージャックス存続にかじを切りました。

あらためて大庭さんと一緒にNPO法人日本国際童謡館の理事長をつとめている高田真理さんとボニージャックスの活動についての会議の席を持ちました。その時に高田理事長が西脇の生前、ニュー西北エンタープライズの整理とボニーのマネージメントを依頼されていたことを知りました。高田さんも西脇の申し出を受けてくれていたことがわかり、「皆さんが良ければ西脇さんの遺志通り、NPO法人日本国際童謡館マネージメントでボニージャックスのコンサートツアーをしませんか？」と言ってくれました。

これからは私が代表となってボニージャックス事務所を設立し、新たな旅立ちとして日本国際童謡館のマネージメントを受け全国各地で歌っていきます。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ボニージャックス事務所代表
玉田 元康

ごあいさつ

ボニージャックスのカオだった西脇久夫が天国に旅立って早や1年、8月30日命日を迎えました。親交のあったダークダックス、デュークエイセスもそれぞれテノール二人を失い余儀なく解散の憂き目に遭いました。実はボニーもテノール二人が先立ち解散の危機に見舞われたのですが、空気を察した盟友大庭照子女史が「解散しちゃダメよ。年齢は宝ものです。応援しますよ」ツルのひと声で残った3人、崖っぷちでこらえてがんばり始めました。なんとかなるものはなんとかなるのです。どうにもならないことはどうにもならないのです。この1年間、やってみれば面白いようになんとかなることを覚えました。故人が天国で焼きもち焼くぐらい舞台が面白く回転し始めました。20年前山形で親しくなった松倉とし子の後援会組織「とし子の会」には西脇を筆頭にボニーが発起人になりました。そしてなによりあの逞しい腕っ節で「ハイ元気」とかなんとかいっておしりベンベン激励の雄叫びを上げているのが大庭照子姐御です。自分の仕事そっちのけでボニーの売り込みに東奔西走、駆け回って少し痩せました。同封のチラシ3人は15年前の写真ですが声は中々の「宝もの」です。聴いてみてから大いに褒めて下さい。

鹿島武臣

松倉とし子(ソプラノ)

オペラ「フィガロの結婚」のスザンナ役でデビュー後作曲家中田喜直に「日本歌曲を歌う語り部」として高く評価され中田の歌曲、童謡のレパートリーを中心にしたコンサート活動を中田と共に全国各地で展開した。

2015年 YBCラジオで始まった日曜日朝の「松倉とし子歌の花束」は好評につき現在も継続中である。中田、松倉、ボニーの共演を機に西脇の発案でファンクラブ「とし子の会」が作られ中田、西脇が発起人代表になった。8月30日代表二人天国で献杯してくれるに違いない。

ご挨拶

ボニージャックスの西脇久夫さんが天国に旅立たれてから早くも1年が経ちました。

私は西脇さんが亡くなられる半年前にお電話をいただいておりました。「いよいよニュー西北エンタープライズを整理しようと思うので、マネージメントをお願いしたい」と仰って打合せのための日取りまで決めておりました。しかし西脇さんのお身体の不調のため「日延べしたい。また連絡する」というお電話が最後となってしまいました。

ボニージャックスが3人となり新たな活動されるという時に、西脇さんから聴いていらっしゃるだろうと思い皆さんに電話のことをお話ししたところ、皆さん全くご存じなかったことがわかりました。そしてあらためてボニージャックスのマネージメントをNPO法人日本国際童謡館でお引き受けすることをお約束した次第です。

今年の4月から「大庭照子が贈る年齢は宝ものコンサート～ボニージャックスと共に」と題したコンサートで各地を回りだしています。ボニージャックスの皆さんが歩んでこられた素晴らしい歴史をひも解きながら、3年計画で全国をまわりたいと夢を広げております。

この度のコンサートでは、ボニージャックスを支えて来られた多くの方々にあらためてご挨拶申し上げたいと存じます。どうぞお誘い合わせの上、ご来場賜りますようよろしくお願い申し上げます。

NPO法人日本国際童謡館理事長 高田真理